

授業科目	保育内容 総論					実務家教員担当科目	○				
単位	1.	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期				
担当教員	上村 眞生										
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育としての実務経験を踏まえ、保育所における保育内容の展開について、実体験を通して学ぶ授業構成とする。 ・ 保育における目標を達成するために必要となる内容を体系的に理解し、保育内容における各領域の視点と関連付けて、保育が展開できるようになる。また、子どもの最善の利益を保障し、且つ発達に即した子ども理解と保育が展開できる力を身につける。 ・ ディスカッションを通して、各人が自身の考えを確立する。 										
授業形態	講義 全体ディスカッション				授業方 法	ディスカッション 演習					
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「保育内容総論」の意義と、乳幼児の保育の基本を理解する ・ 様々な乳幼児保育の方法や内容について学び、実践ができる ・ 子どもの発達の順序性を理解する ・ 各領域における保育のねらいや内容を関連づけて計画・実践・評価する必要性が認識できる ・ 乳幼児期に必要な保育内容を認識し、各領域の内容を総合的にとらえることができる 										
理想的 レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「保育内容総論」の意義と、乳幼児の保育の基本を理解する ・ 様々な乳幼児保育の方法や内容について学び、子どもの発達に沿った実践ができる ・ 子どもの発達の順序性を理解し、適切な援助を行える ・ 各領域における保育のねらいや内容を関連づけて計画・実践・評価することができる ・ 乳幼児期に必要な保育内容を認識し、各領域の内容を総合的にとらえ、自分の言葉で説明できる 										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験											
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）			50%								
レポート外の提出物			30%								
その他			20%								
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリン グ	WE21615J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
ディスカッションのための資料収集・整理 資料作成										1	
授業計画											
第1回	オリエンテーション										

	<p>授業の進め方について説明する。</p> <p>総合的な保育演習 1</p> <p>発表内容および役割分担を決める。</p>
第 2 回	<p>総合的な保育演習 2</p> <p>発表の準備を行う</p>
第 3 回	<p>総合的な保育演習 3</p> <p>発表の準備を行う</p>
第 4 回	<p>総合的な保育演習 4</p> <p>発表の準備を行う</p>
第 5 回	<p>総合的な保育演習 5</p> <p>発表の準備を行う</p>
第 6 回	<p>総合的な保育演習 6</p> <p>発表の準備を行う</p>
第 7 回	<p>総合的な保育演習 7</p> <p>発表の準備を行う</p>
第 8 回	<p>総合的な保育演習 8</p> <p>発表の練習</p>
第 9 回	<p>総合的な保育演習 9</p> <p>リハーサル</p>
第 10 回	<p>総合的な保育演習 10</p> <p>発表会</p>
第 11 回	<p>総合的な保育演習 11</p> <p>反省と振り返り</p>
第 12 回	<p>保育の今日的課題の検討 1</p> <p>保育の評価について考える</p>
第 13 回	<p>保育の今日的課題の検討 2</p> <p>子どもの貧困について考える</p>
第 14 回	<p>保育の今日的課題の検討 3</p> <p>労働者としての「保育士」と、専門職としての「保育士」について考える</p>
第 15 回	<p>まとめ</p> <p>半期間の振り返りとまとめを行う</p>
テキスト	特になし
参考図 書・教材 ／データ ベース・	授業の中で適宜指示する

<p>雑誌等の 紹介</p>	
<p>課題に対 するフィ ードバッ クの方法</p>	<p>各課題への評価コメントを提示する</p>
<p>学生への メッセー ジ・コメ ント</p>	<p>保育の展開において他者と協働するための心構えを持つておくこと 保育に関する今日的課題に関して、普段から情報収集しておくこと 「子どもと関わること」について、様々な立場の人の考えを聞いておくこと 常に「考える」ことを重視し授業を展開するので、自身の考えを持つこと、その考えを他者に客観的に説明することを習慣化しておくこと</p>